

安全性データシート

改訂: 2024年12月11日

前作成日: 2019年6月28日

SDS番号: 410B-7

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC S1HB (B剤)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 薬品と磨耗の軽い影響が予想される表面を正しく準備した後高成形性コーティングとして使用

使用上の制限: 情報なし

使用が奨励されない理由: 適応せず

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

急性毒性、区分 4, H302

皮膚腐食、区分 1C, H314

重篤な目の損傷、区分 1, H318

皮膚の感作、区分 1, H317

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)、区分 2, H373 (経口)

水生環境有害性、急性、区分 1, H400

水生環境有害性、慢性、区分 1, H410

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示：



信号語：

危険

危険有害性情報：

H302 飲み込むと有害。
 H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H373 飲み込んだ場合、長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
 H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

使用上の注意：

P260 ミスト/スプレーを吸入しないこと。
 P264 使用後、手を充分洗浄してください。
 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P303/361/353 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
 P304/340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305/351/338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P301/330/331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 P310 ただちに医師に連絡すること。
 P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 P391 漏出物を回収すること。
 P405 施錠して保管すること。
 P501 許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報：

なし

2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤とも別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	GHS分類
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	20-50	135108-88-2	12-928	急性毒性 4, H302 皮膚腐食性 1C, H314 皮膚感作性 1, H317 STOT 反復暴露 2, H373 (経口) 水生慢性 3, H412

脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物	25-30	68953-36-6	入手不可	皮膚腐食性 1C, H314 皮膚感作性 1, H317 急性水生毒性 1, H400 (Mファクター 10) 水生慢性 1, H410 (Mファクター 1)
ベンジルアルコール	10-20	100-51-6	3-1011	急性毒性 4, H302, H332 眼刺激性 2, H319
テトラエチレンペンタアミン	5-10	112-57-2	2-162	急性毒性 4, H302, H312 皮膚腐食性 1B, H314 皮膚感作性 1, H317 水生慢性 2, H411
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	0.1-0.5	1760-24-3	2-2059	急性毒性 4, H332* 急性毒性 5, H303 眼に対する重篤な損傷性 1, H318 皮膚感作性 1, H317 STOT 反復暴露 2, H373 (呼吸器系、吸入)

その他の成分:

シリカ(石英)	1-3	14808-60-7	1-548	分類されていません*
---------	-----	------------	-------	------------

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

*職場での暴露限界のある物質。

*分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

- 吸入:** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着:** 汚れた衣服を脱ぐ間に、作業場所に水を大量に流してください。衣服は再使用する前に洗ってください。医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合:** 大量の水で目を最低30分間洗い流してください。医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合:** 医師の診断なしで無理に吐かせないでください。意識のない場合口から物を与えないでください。吐瀉物の吸引を防いでください。被害者の頭を横に向けてください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護:** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。ミストを吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

目、皮膚、粘膜に刺激を与え、炎症、火傷、組織の損傷を招くことがあります。高濃縮蒸気とミストは目と呼吸器系の激しい炎症、頭痛、めまい、吐き気、時には息切れを起こすことがあります。繰返し接触すると、皮膚の過敏症あるいはアレルギー反応を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水霧

不適切消火剤: データなし

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： アンモニアガス、有毒な酸化窒素ガスを生成することがあります。不完全燃焼は一酸化炭素を生成することがあります。

その他の危険性： 水を使用すると非常に有害な水溶液を生成することがあります。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6： 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

適切な廃棄用容器に回収してください。流出の痕跡は水で洗い流してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。ミスト/スプレーを吸入しないこと。発ガン性ニトロソアミンを生成する可能性のある亜硝酸ナトリウムその他のニトロソ化剤で汚染しないでください。直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

熱や湿気のない所に保管してください。酸の近くで保管しないでください。反応性金属容器に保管しないでください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	N/A	N/A	N/A	N/A
脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物	N/A	N/A	N/A	N/A
ベンジルアルコール	N/A	N/A	N/A	N/A
テトラエチレンペンタミン	N/A	N/A	N/A	N/A
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	N/A	N/A	N/A	N/A
シリカ(石英)	(吸引可能)	0.03 (上限)	(吸引可能)	0.025

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

十分換気し、濃度を許容限界以下に維持してください。粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。スプレー中は、適切な呼吸用具を使用してください。

手袋： 耐薬品性手袋(例：天然ゴム、ニトリルゴム、ネオプレン、あるいはPVC(ポリ塩化ビニル))

目 / 顔の保護： 安全ゴーグル。

その他： 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	ペースト	pH	適応せず
色	黄褐色	動粘	6,400 cSt @ 25°C
臭気	アミン臭	水溶性	わずかな水溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/ 水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	未定	相対密度	1.25 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆 発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
引火点	122°C	爆発性	未定
方法	成分データ	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎と高温。

10.5. 配合禁忌薬品

強酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。反応金属。物質は水酸基化合物に反応します。

10.6. 危険な分解物

硝酸、NO_x、アンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素、ニトロソアミン、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。既往性のアレルギー症、湿疹、皮膚疾患のある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

急性毒性 -

経口: 飲み込むと有害。ATE-混合物 = 798.6 mg/kg.

物質	テスト	結果
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	LD50、ラット	449 mg/kg
ベンジルアルコール	LD50、ラット	1,230 mg/kg
テトラエチレンペンタアミン	LD50、ラット	1,400 mg/kg (類推)
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	LD50、ラット	2,413 mg/kg

経皮: ATE-混合物 = 2,929 mg/kg

物質	テスト	結果
ベンジルアルコール	LD50、うさぎ	2,000 mg/kg
テトラエチレンペンタアミン	LD50、うさぎ	660 mg/kg
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	LD50、うさぎ	2,009 mg/kg
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	LD50、うさぎ	2,673 mg/kg

吸入: 高濃縮蒸気とミストは目と呼吸器系の激しい炎症、頭痛、めまい、吐き気、時には息切れを起こすことがあります。ATE-混合物 = 64.4 mg/l (蒸気), > 5 mg/l (ミスト)。

物質	テスト	結果
ベンジルアルコール	LC50、ラット	> 4.178 mg/l (ミスト)
ベンジルアルコール	LC50、ラット	11 mg/l (蒸気、ATE)
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	LC50、ラット	> 1.49 mg/l (ミスト)

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚の火傷を起こします。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 目に深刻な損傷を与える危険があります。

物質	テスト	結果
テトラエチレンペンタアミン	目の炎症、うさぎ	腐食性

呼吸器または皮膚の感作: 繰り返し接触すると、皮膚の過敏症あるいはアレルギー反応を起こすことがあります。

胚細胞突然変異原性: ベンジルアルコール、脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物: 生殖細胞の突然変異原ではないとされています。テトラエチレンペンタミン - エイムズ試験: 陽性。N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性：	呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。国際がん研究機関(IARC)と国家毒性プログラム(NTP)は吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。
生殖毒性：	脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: 生殖毒性物質ではないとされています。テトラエチレンペンタアミン: 不確定。
STOT - 単回暴露：	脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物: 一回の暴露では臓器障害を起こすことはないとされています。テトラエチレンペンタアミン、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: データなし。
STOT - 反復暴露：	飲み込んだ場合、長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物、テトラエチレンペンタアミン、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害を起こさないとされています。
吸引性呼吸器有害性：	吸引毒物に分類されていません。呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。
その他の情報：	既知の影響なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

物質	テスト	結果
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	96時間LC50 (Poecilia reticulata)	63 mg/l
ベンジルアルコール	96時間LC50 (ファットヘッド・ミノウ)	460 mg/l
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	48h EC50(ミジンコによる半数影響濃度)	15.4 mg/l
脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物	48h EC50(ミジンコによる半数影響濃度)	0.1 mg/l
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	72時間ErC50(対藻)	43.9 mg/l
ベンジルアルコール	72時間IC50(対藻)	700 mg/l
酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化	3時間EC50(活性スラッジ)	187 mg/l

12.2. 持続性・分解性

テトラエチレンペンタアミン: 生分解しにくいと考えられています。ベンジルアルコール: 易生分解性。N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: 水あるいは湿った空気の中で加水分解して、メタノールと有機ケイ素を放出します。; 生分解 50% (OECD 301A 28日)。

12.3. 生物蓄積の可能性

酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化、テトラエチレンペンタアミン、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン: 水生生物内の生物濃縮度は低いと考えられています。テトラエチレンペンタアミン: log Kow < 1. ベンジルアルコール: 生体内蓄積の可能性低。(log Kow = 1.1)。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。ベンジルアルコール: 土壌内の移動性は極めて高いと考えられています。テトラエチレンペンタアミン: 土壌内の移動性は極めて高いと考えられています。

12.5. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です。樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。適切な設備で焼却することができます。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN2735

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N.O.S.
(POLYAMIDOAMINES / CYCLOALIPHATIC AMINES)

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 8

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

14.5. 環境への危険性

海洋汚染物

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

IMDG: EMS F-A, S-B, IMDG(国際海上危険物規則)の分別グループ 18-アルカリ

ADR: 分類コード C7, トンネル制限コード (E)

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

労働安全衛生法(安衛法)

新規名称公表化学物質: 酸化メチレン、ベンゼンアミン入りポリマー、水素化

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質: ベンジルアルコール(皮膚刺激性有害物質)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

旧第三種監視化学物質: テトラエチレンペンタアミン

毒物及び劇物取締法

劇物: テトラエチレンペンタアミン

消防法

第4類 引火性液体, 第三石油類: ベンジルアルコール

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ATE: 急性毒性推定値
BCF: 生物濃縮係数
cATpE: 変換後の急性毒性推定値
GHS: 世界調和システム
ICAO: 国際民間航空機関
IMDG: 国際海上危険物規定
LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
LOEL: 最小作用量
NOEC: 最大無作用濃度
NOEL: 最大無作用量
N/A: 該当せず
PEL: 許容暴露限度
RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
SDS: 安全性データシート
STEL: 短時間暴露許容濃度
STOT: 特定標的臓器毒性
TLV: 暴露限界
その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法：

分類	分類手順
急性毒性 4, H302	算出方法
皮膚腐食性 1C, H314	算出方法
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法
皮膚感作性 1, H317	算出方法
STOT 反復暴露 2, H373 (経口)	算出方法
急性水生毒性 1, H400	算出方法
水生慢性 1, H410	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント：

H302: 飲み込むと有害。
H303: 飲み込むと有害のおそれ。
H312: 皮膚に接触すると有害。
H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318: 重篤な眼の損傷。
H319: 強い眼刺激。
H332: 吸入すると有害。
H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H400: 水生生物に強い毒性。
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期的影響により水生生物に毒性。
H412: 長期的影響により水生生物に有害。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.2, 1.3, 3, 4.2, 5.2, 7.2, 8.1, 9.1, 12.5, 13, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。